

# 新潟・岩倉遺跡

- | 3    | 2                 | 1 |
|------|-------------------|---|
| 所在地  | 新潟県糸魚川市大字田伏字岩倉    |   |
| 調査期間 | 二〇〇一年(平13)四月一～一〇日 |   |
| 発掘機関 | (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団  |   |

立地の関係上、調査区東半は川原石が厚く堆積する河川氾濫原で遺構は確認できなかつた。丘陵側の西半では礎石建物一棟と一辺約八mの正方形の方形区画遺構一〇基などを検出した。方形区画の南辺部分には直径五cmほどの杭が約三〇cm間隔で打ち込まれており、土止めと考えられるので、水田跡と思われる。

8 木簡の釈文・内容

111

146×18×3 011

所在地	新潟県糸魚川市十三
調査期間	二〇〇一年(平13)
発掘機関	財新潟県埋蔵文化財
調査担当者	山本 肇
遺跡の種類	遺物散布地
遺跡の年代	中世・近世
調査地	糸魚川市の東を流れる 遺跡及び木簡出土遺構の概要

木簡は方形区画周辺の包含層から出土した。木簡出土状況の詳細は不明であるが、出土層位が一五〇一六世紀の陶磁器片を主体とする暗褐色土層で、その上層が近世陶磁器片を主体とするため、中世後期のもので、近世には下らない。周辺からは他に鳥形や人形と思われる木製祭祀具が出土している。

ス工事に先立ち行なわれた。周辺には伝極楽寺跡や田伏

ス工事に先立ち行なわれた周辺には伝極楽寺跡や田伏製鉄遺跡など中世の遺跡が多い。また、『古事記』に見られる沼名川姫を祭神とする式内社奴奈川神社も近在する。近世には幕府の郷蔵が置かれ周辺郷村の中心となり、一方、北陸道の宿

上端部を圭頭状に、下端部を隅丸状に成形する。下端は二次的なものか、他の部材に転用されたためと思われる。下端部裏面には木片を剥ぎ取つたような痕跡も見られる。墨痕の残る表面は調整が施されているが、裏面には調整が見られない。左側面には調整の跡が見られるが、右側にはそれが明確には見られない。墨痕は出土時点では肉眼で読めるほど明瞭であつたが、それでも下端部に近づくほど墨が薄い。墨痕が明瞭であつたにもかかわらず、文字は釈読でき



か判然としない。通常の漢字では見慣れない字体のものも見られ、  
読みを難しくしている。

圭頭状の形状や祭祀具を付近から共伴していることから、祭祀関係に用いられた可能性が高い。特に、中間付近に「井」（菩薩）のような文字も見られるので仏教関係という推測も可能である。一方水田と思われる方形区画施設に伴うことを考慮すると、水田農耕などに関係する可能性も想定される。

なお、本簡の翻訳にあたっては奈良女子大学館野和己氏・新潟大学小林昌二氏のご教示を得た。

9 關係文獻

（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成一三年度』（一〇〇一年）

(田中一穂)

卷之三

木簡研究第二号

卷頭言—WEB版木簡データベースの公開に思う—

石上英二

一九九九年出土の木簡  
概要 平城京跡右京七条一坊十五坪  
秋篠・山陵遺跡  
薬師寺旧境

内藤原京跡右京六条四坊北西坪 大藤原京跡左京北五条三坊南西坪  
 飛鳥池遺跡 飛鳥池東方遺跡 飛鳥東垣内遺跡 川原寺跡 吉備池廢寺 長岡宮跡 平安京跡左京三条三坊十五町 平安京跡左京七条二坊八町及び本園寺 烏羽遺跡・烏羽離宮跡 大敷遺跡興戸宮ノ前木道跡 木道跡  
 木道跡 木道跡  
 長保寺遺跡 溝咲遺跡 玉櫛遺跡 純坂遺跡 加都遺跡 豊岡城館遺跡 岩井枯木遺跡 宮内黒田遺跡 姫路駄馬周辺第四地点遺跡 古網干遺跡 六大A遺跡 楠田地区内遺跡群奥ノ垣内地区 内垣外遺跡  
 宇津宮辻子幕府跡 汝留遺跡 江戸城外堀跡 (四谷御門外橋詰・御堀端通・町屋跡) 法光寺跡 白鷗遺跡 池之端七軒町遺跡 豊岡城館遺跡 上千葉遺跡 宮町遺跡 小谷城跡 (伝知善院跡) 尾浜遺跡 屋代跡群 (北陸神領關係) 櫻田遺跡 神羅山遺跡 後田 (日記) 遺跡 洲崎遺跡 福井城跡 (1) 福井城跡 (2) 神野遺跡 堅田B遺跡 広坂遺跡 中保B遺跡 東木津遺跡 柄谷南遺跡 横井A遺跡 下ノ西遺跡 跡 壱本杉遺跡 砂山中道下遺跡 下町・坊城遺跡C地点 船戸川戸崎遺跡 三田谷I遺跡 熊山田散布地 岡山城二の丸 (中國電力変電所) 遺構 新道 (清輝小) 遺跡 米田遺跡 百間川米田遺跡 四元岡遺跡群 下上戸遺跡 長登銅山跡 觀音寺遺跡 平田七反地遺跡  
 長岡京跡 (一八号) 東浅香山遺跡 (二〇号) 伊興遺跡 (一九号)  
 一九七七年以前出土の木簡 (二二) 平城京跡左京二条二坊十坪  
 長文の訂正と追加 (二二) 削屑からみた長屋王家の木簡:渡辺見宏、長屋王家の米支給関係木簡  
 :勝浦令子、長屋王家の経済基盤と荷札木簡:楠木謙周、討論のま  
 とめ:東野治之  
 木簡の撮影 今泉隆雄著 「古代木簡の研究」

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円

森井上直夫  
公章

とめ：東野治之  
木簡の撮影  
書評 今泉隆雄著  
彙報  
『古代木簡の研究』  
頒佈  
五五〇〇円  
送料六〇〇円  
井上直夫  
森公章

東淺香山遺跡（二〇号） 伊興遺跡（一九

伊興遺跡（一九

伊興遺跡  
二九

一九七七年以前出土の木簡(一一)  
平城京跡左京二条二坊十坪

老本杉遺跡	崎遺跡	老本杉遺跡
砂山中道下遺跡	三田谷I遺跡	砂山中道下遺跡
下町・坊城遺跡C地點	熊山田散布地	岡山城二の丸・中國電力変
岡山船戸川遺跡	岡山城二の丸・中國電力変	電所
電構	新道(清輝小)遺跡	電所
市遺跡	米田遺跡	市遺跡
下上戸遺跡	百間川米田遺跡	下上戸遺跡
長登銅山跡	平田七反地遺跡	長登銅山跡
觀音寺遺跡	平田七反地遺跡	觀音寺遺跡
元岡遺跡群	元岡遺跡群	元岡遺跡群
一九七七年以前出土の木簡	(二二)	一九七七年以前出土の木簡

上野草遺跡 上千葉遺跡  
上浜遺跡 屋代遺跡群(北陸新幹線関係)  
市川橋遺跡 柳之御所遺跡 志羅山遺跡 後田(旧月記)遺跡 洲原遺跡  
崎遺跡 福井城跡(1) 福井城跡(2) 神野遺跡 堅田B遺跡  
跡 中保B遺跡 東木津遺跡 梶谷南遺跡 梶井A遺跡 下ノ西遺跡

吉跡 宇津宮迹子幕府跡 沙留遺跡  
・御蟲端通・可屋跡 江戸城外堀跡(四谷御門外橋  
去光寺跡 白鶴貴跡 他之端七軒可貴跡)

網干遺跡、六大A遺跡、櫛田地區内遺跡群、奥ノ垣内地内、垣外遺跡、留貴亦、工石或朴屋亦、（四谷御門外喬木留貴亦）

遺跡 岩井枯木遺跡 宮内黒田遺跡 姫路駅周辺第四地点遺跡 古

長保寺遺跡 溝呴遺跡 玉櫛遺跡 釣坂遺跡 加都遺跡 豊岡城館

宮ノ前遺跡 武者ヶ谷遺跡 河守遺跡 難波宮跡 大坂城下町跡

七条二坊八町及び本圓寺  
鳥羽遺跡・鳥羽離宮跡 大藪遺跡 興戸

平内  
藤原京跡在京六条四坊北西母  
飛鳥地費跡  
飛鳥東垣内費跡  
川原寺跡  
告

概要 平城京跡在京七條一坊十五坪 秘篋・山陵遺跡 藥師寺旧境  
藤原京跡石京六条四坊北西坪 大藤原京跡丘京七条三坊南西坪

一九九八年出土の木簡  
概要  
（成京市古京町二号一二五坪）  
水篠  
山愛宣  
篠原千田竜

卷頭言—WEB版木簡データベースの公開に思う—  
石上英一

118